

## 2 施策の方向

項目	施策の方向
小児（救急）医療体制の確保	<p>○研修会等を通じた地域の内科医師等が小児の初期救急医療に対応できる体制整備や、診療所小児科医師の小児救急外来への参画促進、小児医療関係機関の連携強化などにより、各二次保健医療圏において、日常的な初期（救急）医療が提供され、高度な医療提供が必要なときには、高次の基幹病院と連携し、速やかに対応できる医療連携体制の維持・確保に取り組みます。</p> <p>○小児救急医療の提供において、特に重要な役割である休日や夜間の小児救急医療を担う基幹病院に必要な医師等が確保されるよう、関係者と連携して取り組みます。</p> <p>◎かかりつけ医を持つことの重要性に加え、救急医療のかかり方や急病時の対処法など、緊急時に必要な情報が得られる信頼性の高い情報サイト等を保護者等に十分に周知することにより、家庭での看護力を高め、適切な救急医療の利用につなげます。</p> <p>◎#8000（小児救急電話相談）のさらなる活用に向け、応答率の把握や対応者研修等を通じ、相談者への対応の質の向上を図るとともに、市町村や関係団体等と連携して保護者に周知します。</p> <p>○災害時や新興感染症の発生・まん延時において、医療需要が増加した場合にも必要な小児医療が提供できるよう、救急医療を含め、医療機関相互の役割分担や消防機関等との連携についてあらかじめ協議しておくとともに、研修等を通じ、災害時小児周産期リエゾンを養成します。</p> <p>○岡山県小児医療協議会を中心に、周産期医療関係者に加え、市町村を含めた母子保健・福祉等の関係者と連携しながら、医療的ケア児への対応を含め、小児医療を取り巻く諸課題への対応策を検討するなど、母子に対する切れ目のない支援を提供する体制の整備に向け、協働して取り組みます。</p>

## 3 数値目標

項目	現状	令和11年度末目標 (2029)
年少人口1万人当たりの小児科医師数	13.9人 R2年 (2020)	現状維持または増加

【小児医療】

【ストラクチャー指標】 ※医療サービスを提供する物質資源、人的資源及び組織体制を測る指標

区分	指標名		調査年 (周期)	調査名等	現状		備考
					全国	岡山県	
地域・相談支援等	小児救急電話相談の件数		R4年度 (2022) (毎年)	都道府県調査	—	11,874件	
	小児救急電話相談回線数		R4年度 (2022) (毎年)	都道府県調査	—	3回線	
	小児救急電話相談における 深夜対応の可否		R4年度 (2022) (毎年)	都道府県調査	—	可	
	小児救急電話相談応答率		R5年度 (2023) 開始 (毎年)	都道府県調査	—	—	
	小児救急電話相談の助言・ 指導で解決した事案の割合		R4年度 (2022) (毎年)	都道府県調査	—	34.5%	
	家庭看護力向上のための 出前講座等の参加者数		R4年度 (2022) (毎年)	県独自報告	—	—	
	岡山県小児医療協議会の 開催回数		R4年度 (2022) (毎年)	県独自報告	—	2回	
地域・相談支援等・一般小児医療・地域小児医療センター・小児中核病院	小児人口		R4.1 (2022) (毎年)	住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査	15,035,727人 (11,939.9人)	221,886人 (11,916.5人)	(人口10万対)
	出生率 (人口千対)		R4年 (2022) (毎年)	人口動態調査	6.3	6.8	
一般小児医療	一般小児医療を標榜する病院・診療所数	病院数	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	2,539施設 (16.9施設)	49施設 (21.0施設)	(小児10万対)
		一般診療所数			3,119施設 (20.8施設)	37施設 (15.9施設)	(小児10万対)
	小児歯科を標榜する 歯科診療所数		R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	43,909施設 (292.1施設)	595施設 (255.4施設)	(小児10万対)
一般小児医療・地域小児医療センター・小児中核病院	小児科医師数		R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	18,408.6人 (122.5人)	294.8人 (126.5人)	(小児10万対)
	地域連携小児夜間・休日診療料の届出医療機関数	地域連携小児夜間・休日診療料1	R4年度 (2022) (毎年)	診療報酬施設基準	378施設 (2.5施設)	2施設 (0.9施設)	(小児10万対)
		地域連携小児夜間・休日診療料2			94施設 (0.6施設)	5施設 (2.3施設)	(小児10万対)
		県南東部保健医療圏			—	2施設 (23人)	(小児科常勤医師数)
		県南西部保健医療圏			—	2施設 (47人)	(小児科常勤医師数)
		高梁・新見保健医療圏			—	0施設 (0人)	(小児科常勤医師数)
		真庭保健医療圏			—	0施設 (0人)	(小児科常勤医師数)
津山・英田保健医療圏	—	1施設 (6人)	(小児科常勤医師数)				
地域小児医療センター	NICUを有する 病院数・病床数	病院数	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	352施設 (0.3病院)	5施設 (0.3施設)	(人口10万対)
		病床数			3,394床 (2.7床)	54床 (2.9床)	(人口10万対)
小児中核病院	PICUを有する 病院数・病床数	病院数	R2年 (2020) (3年毎)	医療施設調査	37施設 (0.03病院)	2施設 (0.1施設)	(人口10万対)
		病床数			345床 (0.3床)	12床 (0.6床)	(人口10万対)

区分	指標名		調査年 (周期)	調査名等	現状		備考
					全国	岡山県	
一般小児医療・ 小児救急医療	小児科を主たる 診療科としている 医師数	県南東部 保健医療圏	R2年 (2020) (2年毎)	医師・歯科医師・ 薬剤師統計	—	177人 (15.7人)	(小児1万対)
		県南西部 保健医療圏			—	117人 (13.2人)	(小児1万対)
		高梁・新見 保健医療圏			—	6人 (11.6人)	(小児1万対)
		真庭 保健医療圏			—	2人 (4.0人)	(小児1万対)
		津山・英田 保健医療圏			—	21人 (10.0人)	(小児1万対)
		県南西部・ 高梁・新見 保健医療圏			—	123人 (13.1人)	(小児1万対)
		真庭・津山・英田 保健医療圏			—	23人 (8.9人)	(小児1万対)
	小児科を主たる 診療科又は従たる 診療科としている 医師数の合計	県南東部 保健医療圏	R2年 (2020) (2年毎)	医師・歯科医師・ 薬剤師統計	—	301人 (26.7人)	(小児1万対)
		県南西部 保健医療圏			—	198人 (22.3人)	(小児1万対)
		高梁・新見 保健医療圏			—	13人 (25.1人)	(小児1万対)
		真庭 保健医療圏			—	12人 (24.1人)	(小児1万対)
		津山・英田 保健医療圏			—	37人 (17.7人)	(小児1万対)
		県南西部・ 高梁・新見 保健医療圏			—	211人 (22.4人)	(小児1万対)
		真庭・津山・英田 保健医療圏			—	49人 (18.9人)	(小児1万対)
小児救急 地域医師研修事業	開催回数	R4年度 (2022) (毎年)	小児救急地域医師 研修事業報告	—	8回		
	研修受講者数			—	401人		
災害対応等	災害時小児周産期リエゾン任命者数		R4年 (2022) (毎年)	都道府県調査	804名	24名	

## 【小児医療】

【プロセス指標】 ※実際にサービスを提供する主体の活動や、他機関との連携体制を測る指標

区分	指標名		調査年 (周期)	調査名等	現状		備考
					全国	岡山県	
一般小児医療・ 地域小児医療 センター・ 小児中核病院	小児救急搬送症例 のうち受入困難事 例の件数	医療機関に受入 照会を行った回 数が4回以上	R4年度 (2022) (毎年)	令和3年中の救急 搬送における医療 機関の受入状況等 実態調査	7,088件 (46.3件)	112件 (49.6件)	(小児10万対)
		現場滞在時間が 30分以上の件数	R4年度 (2022) (毎年)		13,340件 (87.1件)	110件 (48.7件)	(小児10万対)
	特別児童扶養手当受給者数		R3年度 (2021) (毎年)	福祉行政報告例	254,706件	2,700件	
	障害児福祉手当受給者数		R3年度 (2021) (毎年)	福祉行政報告例	63,372件	736件	
身体障害者手帳交付数 (18歳未満)		R3年度 (2021) (毎年)	福祉行政報告例	94,051件	1,094件		

【アウトカム指標】 ※医療サービスの結果としての住民の健康状態を測る指標

区分	指標名	調査年 (周期)	調査名等	現状		備考
				全国	岡山県	
地域・相談 支援等	小児人口あたり時間外外来受診回数	R3年度 (2021) (毎年)	ナショナル データベース	4,773,617 (31,161.1)	74,897 (33,146.0)	(小児10万対)
一般小児医療・ 地域小児医療 センター・ 小児中核病院	乳児死亡率	R4年度 (2022) (毎年)	人口動態調査	1.8	1.3	(出生千対)
	乳幼児死亡数	R4年度 (2022) (毎年)	人口動態調査	1,851 (0.4)	25 (0.4)	(5歳未満 人口千対)
	小児(15歳未満)の死亡数	R4年度 (2022) (毎年)	人口動態調査	2,584 (0.2)	34 (0.2)	(15歳未満 人口千対)